

みどりのコンテストを!

- 「みどりの公園大会」のようなものを市で開催して、どれだけみどりを増やせるか地区ごとに競ってみるのはどうでしょう。
(北区・20代)

市役所から



藤野連合町内会で2年前から取り組んでいる「フラワーガーデニングコンテスト」や、今年から厚別区で始めた「我が家のガーデニング自慢コンテスト」など、地域での活動が広がっています。「みんなで競い合っただけで楽しむなら」みどりを増やすというのはとても素晴らしいアイデアですね。ぜひ皆さんの地域でも、工夫合っただけでこのような活動を広げてほしいと思います。

市民に人気のあるナナカマド

ナナカマドについて「赤い実がかわいい」、「姿が美しい」という声が多数寄せられました。

- 昔、初めて札幌を訪れたとき、ナナカマドの多さとその美しさに驚いて、写真を撮った覚えがあります。本州では見掛けない木なので…。
(中央区・30代)
- 冬、雪に映える赤い実は本当に美しいと思います。毎年、実のつき具合を見ながら歩いています。
(南区・70代)

市役所から

新しい道路を造るとき、街路樹の植栽では、①美しい景観を保ち、②厳しい生育環境に耐え、③病虫害の発生が少ないなどの点から、「ナナカマド」「イチヨウ」「カエデ」などを選ぶことが多くなっています。



8月号の特集「さあ!みどりの世界へ～みんなで増やそう!札幌のみどり」に、多くのご意見をいただき、ありがとうございました。

市では、皆さんから寄せられたさまざまなアイデアやご意見を参考に、「みどりを30%増やす」という大きな目標の達成に向けて、市民参加での取り組みを検討していきます。

今回ご紹介したたくさんの方の声を参考に、皆さんもぜひ、あなた自身にできることから、そして近隣の方たちや友人たちと一緒に楽しんでできることなど、みどりを増やす活動を始めてみましょう。

この木は何の木?

- 街路樹にはいろいろな木が使われていますが、何の木か分からないのもたくさんあります。電話で教えてもらえるのでしょうか。
(中央区・30代)

市役所から



街路樹の周りは、市が年3回程度の草刈りを行っています。町内会などの団体が花を植えていただいているところも多くあります。また、市内の街路樹については、どこにどんな街路樹が植えられているか、また、見ごろについてもご案内できますので、気軽にお問い合わせてください。

特集を読んだの声

- 緑化推進のためのいろいろな活動が行われていることを知り、こうした活動がもっともっと増え、市民に緑化が意識付けられるといいなと思っていました。私も庭の空いているスペースに木を植えようと思います。
(北区・40代)
- みどりが少なくなるのはとても残念なことです。一人ひとりが心を痛めることで、みどりを増やしていけると思います。
(中央区・深瀬亮三さん・20代)
- 何としてもみどりを守り通すのが、現代に住む市民の義務と考えています。
(中央区・60代)

●今年からオープンガーデンを始めました。地域の縁側として老若男女が集い、交流の輪が広がることを願い、来訪者に楽しんでもらえたら：と思っています。
(西区・40代)

●失ってからでは遅い、自然。これからもみどりを大切にしていきたいと思えました。地域の取り組みがたくさんあるんですね。私も何かできることがないか考えてみることにします。
(清田区・40代)

そのほかこんな声も...

●最近、地下鉄北24条駅の前に花が置かれました。見掛けるたびに温かい気持ちになります。もっと身近にみどりが増えれば…と願っています。
(東区・20代)

●毎日猛暑が続くと、街路樹のありがたみをつくづく感じます。木陰に入ると何かホッととした気分になりますよね。落ち葉の苦情が寄せられていると聞きましたが、猛暑でのありがたみを思えば、落ち葉を掃くぐらいは何でもないことです。
(東区・和田和子さん・60代)